

旧街道ウォーク348★古代東海道[36] [古代東海道 2008-09 その 15]「江戸崎～阿見」活動

報告

【日時・天候】2009年7月5日（日）10:50～16:10 曇り

【コース】ポティロンの森 → 奥野開拓 → 井ノ岡新田 → 月出里・鹿島神社〈昼食〉 → 飯倉 → 東坪 → 阿見町運動公園〈休憩〉 → 若栗 → 八坂神社 → 阿見中央公民館（11km）

【参加者】○梶川義実、片桐拓朗、加藤栄子、清水俊哉、恒川磯雄、寺村映、長澤純一、長谷川万里子、平野隆、古里実、矢部公大（11名）（○は主催者）

【概況説明】 この日は、7月に入ったもののあまり暑くない曇りの天気でした。旧江戸崎町のポティロンの森裏口でタクシーを降り、前回終着点から歩き始めました。今回の道は、まっすぐ北へ延びる直線道路で、開拓地の中を進みます。この先、競走馬育成の施設や酪農家が左右に続く旧道を行き、井ノ岡新田の農地で少し直線道路からはずれましたが、その先で再び畑の中の直線道路に戻ります。この先、旧道を少しはなれ、月出里（すだち）の鹿島神社で昼食休憩をとりました。旧道へ戻り、圏央道の下をくぐり阿見町に入ります。大形地区で主要道ははずれ、再び畑の中の直線道を進み、東坪地区にて北西へ曲がりました。この先、阿見町総合運動場で小休止ののち、阿見町宿地区の八坂神社へ詣で、阿見中央公民館にて終了となりました。

【評価結果】 古代官道らしさについては、数キロに及ぶ直線状道路が続くなど、古代官道の特徴が出ていたためかなり高い評価となりました。沿道風景については、沿道の競走馬育成の施設や酪農家の施設、畑作地などの風景を挙げた人が多く高い評価となりました。古道の史跡については、古代の史跡がほとんど存在しなかったため低い評価となりました。案内表示については、古道、歴史ともほとんどなく低い評価となりました。印象に残ったものとして、奥野開拓の牧場、直線状道路、畑の多くの作物、鹿島神社を挙げた人が多かったようです。全体を通じての評価点は3.91で高めの評価となりました。

【参加者の評価結果】

1. ◆全体を歩いた感想 評価点 (3.91) 内訳 AAAAAABBBBC

A：農村景観が変化に富み素晴らしかった。道もまっすぐでそれらしかった。季節的にも様々な農作物をみることができたと思う。あの「タデ」は栽培なのか気になる。もしかしたら「ツマ菜」の種子様なのかもしれない…。

A：畑や開拓地の中を真っ直ぐに続く道は、古代東海道を想像させるのに十分であった。森あり、畑あり、牧場ありで、このシリーズの中でもっとも街からはなれた区間であろう。

A：出発地点から奥野開拓、さらに飯倉に至る直線路は見事だった。飯倉地区で阿見町役場方向へ北西に曲がったが、石岡を目指すのであれば合理性はあると思う。

A：何と言ってもこの直線性は古代東海道の雰囲気をもっています。納得しました。

B：自動車の幹線道路からはずれた道がほとんどで、緑の中、のんびりと大変気持ちよく歩けた。牛舎や厩舎、牛や馬の放牧などや、芝生、落花生、牛蒡、タバコ等の栽培や雨蛙など珍しい風景を見た。また、犬の先導、子猫の後追いなど珍しい体験もした。史跡が乏しかった。

B：車も少なく道幅がちょうどよく両側の草花もよく見ることができ、歩きやすかった。曇っていたので体力の消耗が少なく最後まで持った。

B：東京圏とは思えない田園風景を味わえた。写真だけで切り取れば、ここは北海道といえる風景がいくつもあっ



た。

B：ぬかるみが多かったので足に若干の負担が掛かりました。蜘蛛の巣にもよく引っかかり、枝で顔面打ちました。

2. ◆特に魅力的だったところ

○主にポティロンの森から飯倉地区までの前半。

○奥野開拓地：どこまでも真っ直ぐな道と沿道の牛や馬。

○奥野開拓の直線道路：ひたすら真っ直ぐつづく道。一連の古代東海道コースの中でも特に印象的。

○奥野開拓や井ノ岡新田の直線道路：古代もこうだったと思わせる。

○奥野開拓の牧場：あんなにたくさんの馬や牛に会えたのは久しぶり。

○開拓地の牧場、畑作地帯、谷津田。

○牧場：競走馬の訓練所？馬事学校があったところ。私達が通ったら馬が次々と顔を出してくれた。



○直線状道路痕跡：地上絵。

○直線状道路痕跡：古代官道の最大の特徴である直線形が、本当に良く出ていたなと思いました。途中一箇所、かなり大きく北西に進路を変更しましたが、そこから先も、比較的直線であったろうと思われる行程だったのが良かった。

○道端：露草や綺麗な草花、トンボが飛んでいました。

○鹿島神社：鬱蒼とした森の中にあり、静寂に包まれている。Y氏の尺八で幽玄の世界に浸れた。



○鹿島神社：狭い階段を上り、うっそうとした森の中にある神社。ほとんど陽も当たらずコケが生えているのがまたよい。

○圏央道をくぐるあたりまでの未舗装の農道のような細い道：細い道路についているトラクターのタイヤ跡を見ると、ある時期は忘れ去られたような道、もしくは歩ける程度の細い道になっていたかも知れない道が、それを基に農道として復活活用されているような気がしました。



○いろいろな畑：ゴボウ、ミニトマト、オカボ、タバコなど普段見ない畑が次々に出現しおもしろかった。
○東坪地区の豪農：寺かと思われるぐらい、大きな屋敷だった。



○西坪地区の神社：神域の雰囲気は充満していた。石塔などに架けてあった縄の由来を知りたい。
○お姫様の墓：由来を知りたい。
○牧場を除き、少し景色は単調でしたね。
○阿見工業団地（予定地）：思わず工業用地ガイドを見て確認しました。

3. ◆古代官道らしさ（直達性、短絡性、古代史跡等） 評価点（4.00）内訳 AAAAAABBBBC

A：特に前半は、ほとんど直線で、かつ町境になっていた。ひたすら常陸国府を目指していた感じ。
A：直線区間が多く、下総～常陸編でも、最も古代官道らしい。
A：非常に長い直線状の道路に古代官道らしさが感じられました。
A：今回ほど道の直達性を実感できたことはこれまでになかった。
A：古代官道の最大の特徴である直線形が、本当に良く出ていた。辺境の地なので、古代も特別な施設はそもそもあまり無かつたろうと思われるので、古代史跡がほとんど無かつたことは当然でしょう。
A：多少道幅が狭いのが当時からか、その後の影響かは分かりませんが。
B：まっすぐにのびてどこまでも続いていた。古代史跡はなかった。
B：前半のまっすぐな道が市町村境と重なっていること。後半はあまりそれらしくなかった。
B：歴史を感じさせる史跡はあまり見られませんでした。直線上の道路がそれらしく感じられます。
C：全体として直進性はあったが史跡に乏しかった。奥野開拓地は、どこまでも真っ直ぐな道が続いているが、開

拓地なので、あまり古代の道という感じではなかった。

4. ◆沿道風景の魅力 評価点 (3.60) 内訳 AAAABBBBBBC

A：なんと言っても直線路につける。北の方から成田や羽田に向かう飛行機からも確認できることもあるので、乗るときは窓際に座ってください。

A：田舎の風景が主であったが、牧場や競走馬関係の施設などが珍しかった。前回5月のコースと異なり、台地のため田圃がほとんどなかった。

A：3に重なるが、農村風景。特に、牧場の感じは北海道のイメージの様だった。

A：たばこ畑。生まれて初めてみました。牧場。牛をアリーナ位置で見ました（ちょっと怖い）。

B：史跡が乏しかったのが難点だが、牛舎や厩舎、牛や馬の放牧、芝生、落花生、牛蒡、タバコ等の栽培、ヤマモモの実や雨蛙など珍しい風物を堪能した。



▲牛蒡畑



▲落花生



▲たばこ畑

B：「奥野開拓」の牧場、星の里工業団地の手前の「東坪」あたりの田圃と、そこに島のようにせり出した小高い森の組合せ風景。

B：牧場の牛や馬をまじかに見たのは本当に久しぶりで、また別世界のようにでした。

B：牧場や畑地に水田の風景と、馬や牛、トンボ、アマガエル、犬や猫など道中での出会いも豊かでした。

B：奥野開拓地の牧場：明るく伸びやかな雰囲気なかなか良かった。東坪と西坪の集落は、地形や家と樹木によってその土地を囲んでいる雰囲気が、まるで境界によってひとつの世界を包み込んでいるようだった。

C：古い神社類が少ない様に見えました。当時の人口密度は少なかったのかな。

ー：竹林の近く。木に彩色したサンタがいた。芸術家の住いか。

5. ◆古道にふさわしい史跡 評価点 (1.55) 内訳 BBBCCCCCCD

B：鹿島神社に寄ったのはよかった。阿見の八坂神社は比較的新しい様だが、本殿の後ろ側だけ文化財なのは目立たずもったいないと思った。

B：古代官道に関しては無かったが、阿見町宿地区の八坂神社祭礼関連の藁の工作物など、古くから伝わる風習を感じる事が出来た。

B：史跡はほとんど気がつきませんでした。

C：鹿島神社（月出里神社）はこじんまりとしていましたが、大木が鬱そうとしていて良かったです。

C：鹿島神社や八坂神社とそのお祭りの飾りに、わずかに古道の香りがした。

C：史跡と呼べるものはほとんどなかった。

C：史跡は少なかったです。

C：古代でも相当の辺境の地でしょうから、古代にふさわしい史跡が無いのもしょうがない。

C：なかった。

D：なかった。



6. ◆沿道の古道や歴史の案内表示 評価点 (1.00) 内訳 CCCCCDDDD

C：古道関連は特になかったと思う。

C：古道に限らず、案内表示がほとんどない。

C：史跡同様です。

C：そもそも、紹介するような史跡もないし、あまりにも交通機関から遠くて、そうそう外部の人が来るような場所ではない。そうだとすると、案内表示を設置するのは困難かな・・・。

D：歴史の案内はほとんどなかったように思う。

D：なにも無かった。圏央道を古代官道がアンダーパスする地点からは、何か発掘されなかったのだろうか。

D：なかった。

7. ◆古道を活用したまちづくりの方向

○奥野開拓地は、古代官道の直線道路をうまく活用している。

○古道が売りになるかどうか疑問ですが、今回のコースはウォーキングコースとしては十分宣伝できると思った。

○まっすぐな道を自慢するような取組をすると良いのでは。

8. ◆その他、今回の企画や気づいた点など

○自動車の幹線道路がほとんどなく、緑と静寂に包まれた快適な道だった。(J. N)

○このコースを2回も歩くとは思わなかった。道の印象は前回とほぼ同じであったが、沿道風景は覚えておらず新鮮だった。阿見町飯倉の、畑の中を抜けた1本道の出口の場所は、記憶が蘇った。直線的道路を味わうにはいい道だと思う。(T. K)

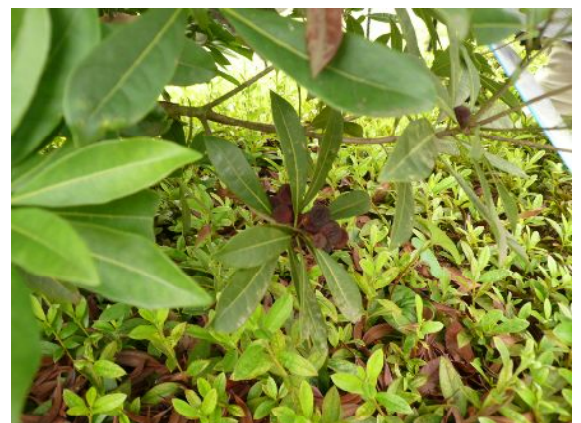
○古代東海道下総・常陸編の途中から参加しましたが、次第に終点に近づき楽しみです。(A. T)

○ここまで来ると都市部とは違った魅力を味わえるコースでした。オプションの土浦宿の街並みや打ち上げの天ぷら屋さんもなかなか良かったです。梶川さん企画ありがとうございました。(M. F)



○「すだち」をワープロ変換すると「月出里」が出るのですね。他に「鹿立」も出ますが、宮城県石巻市にある地名のようですね。(T. H)

○いきなり遅刻してすみませんでした。土浦で旧水戸街道散策が出来て良かったです。そこで買ったれんこんサブレ「ハスだっぺ」は大好評でした。落花生や空豆の由来、トンボは本当に指くるくるで止まる、道になっているヤマモモはプチッと取って食べられるなど私にとっては驚きが多かったです。史跡の文字を魚拓の史跡版(名前忘れました)で判明させようとする技術にも興味を惹かれました。旧街道と街あるきが一度に味わえて充実した内容でした。(M. H)



○今回一番印象に残ったのは、小さな神社鹿島神社（月出里神社）で尺八が聴けたことです。メンバーによる奉納演奏でとても清々しい気持ちになりました。ありがとうございました。タバコ畑、陸稲、教えていただきました。やまも美味しかったです。（E. K）

○天候に恵まれ（丁度よい曇天）、距離もコースもよかったです。阿見町の運動公園の立派さには驚いた。やはり自衛隊基地関連でしょうか。（I. T）

◆ **主催者より** 月出里の鹿島神社で昼食をとりましたが、矢部さんの尺八奉納演奏は大変良かったです。今回は昼食も休憩も店ではなく、外だったので、古代の旅人気分を味わえたと思います。途中、井ノ岡新田の集落から、正しいルートを地元の柴犬が案内してくれました。不思議な縁です。遠方にもかかわらず、多くの方々に参加いただき、感謝します。次回の古代官道は10月に阿見～土浦を予定しております。8月は休み、9月は「江戸検定一級合格一步さんと行く大江戸ツアー」を予定しております。（梶川義実）



▲ 阿見町中央公民館前にて



▲地元の柴犬が案内してくれた井ノ岡新田の集落からの正しいルート